

グリーンウェイブ2009 実施要綱

1. 名称：「グリーンウェイブ2009」
2. 趣旨：国連の定める国際生物多様性の日（5月22日）を中心として、青少年などが植樹、植樹した樹木への水やり等を行うことを通じ、生物多様性に関する認識を促し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を促進するとともに、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の日本開催に対する機運を高める。
3. 実施期間：平成21年5月18日から6月14日まで
4. 主唱：生物多様性条約事務局、環境省
5. 後援：国連大学高等研究所
6. 参加団体：小中学校、NGO等
7. 協力（五十音順）：
 - 財団法人オイスカ／OISCA International
 - 財団法人 川口緑化センター
 - 財団法人 国民公園協会
 - 新宿御苑森の会
 - 積水ハウス株式会社
 - 日本学校農業クラブ連盟
8. 実施内容：
 - (1) 植樹等の実施

青少年などを中心に、植樹、植樹した樹木への水やり等を実施する。
（具体的な実施方法等については、別添1及び2参照。）
 - (2) 広報活動

本活動の趣旨の普及を図るため、生物多様性のコミュニケーションワード（「地球のいのち、つないでいこう」）を活用するとともに、国際生物多様性年、COP10に関する広報を重点的に実施する。
 - (3) 支援活動

苗木等の提供、技術指導、地域の樹木や植生等に関する情報の提供等、植樹等活動への支援を実施する。

<別添資料>

- 別添1：グリーンウェイブの手引き（児童・生徒の皆さんへ）
- 別添2：グリーンウェイブの手引き（教師の皆さんへ）
- 別添3：グリーンウェイブ2009にかかるコミュニケーションワード

グリーンウェイブの手引き (児童・生徒の皆さんへ)

(生物多様性条約事務局作成 環境省仮訳)

皆さんの学校の先生、クラスやクラブの仲間と一緒に、グリーンウェイブに参加しませんか？

グリーンウェイブは、世界中の子どもたちや若者が、生物多様性の促進に参加できる、楽しくて簡単な方法です。さらに、世界中の人々が、皆さんの学校の「グリーンウェイブツリー」を、生物多様性条約のホームページ上にある地図で確認することができるようになります。その方法をここでご説明します。



1. 皆さんの学校の同級生、先生、クラブの仲間と、グリーンウェイブについて話し合しましょう。グループを作ったら、先生にウェブサイト上で「参加 (join us)」登録してもらいます。
2. 次に植樹について調べて、グループの植樹活動を計画しましょう。グリーンウェイブ・ウェブサイトやリンクページに、ヒントが用意されています。
計画を立てたら、先生にウェブサイト上で「登録 (register your tree)」してもらいます。時間が経ってから活動内容が変わってもかまいません。先生がいつでも情報を更新することができます。

インターネットや、図書館などを利用して、いろいろな情報を集めてみましょう。近所の苗木屋さんや樹木の専門家に話を聞いてみるのもいいかもしれません。調べてみる内容としては、たとえば：

- ・ 樹木の多様性とはなんですか？
- ・ 木を植える時、何に気をつけなければならないですか？
- ・ どのような種類の木を植えたらよいのでしょうか？
(今年の「国際生物多様性の日 (IDB)」のテーマは「生物多様性と侵略的外来生物」です。自生樹木種を植えることができれば、2009年のテーマに合致しますね。)
 - なぜ、この樹種なのですか？
 - 植えた後、この樹木についてはどのような世話が必要でしょうか？
- ・ どこにその木を植えたらいいのでしょうか？
- ・ その木を植えるのに一番いい時期はいつですか？(気候条件や学力試験の日と重なってしまう、など) 5月22日が皆さんの住む地域に適した時期ではないならば、他の日を選びましょう。
- ・ その木を世話するのは誰ですか？どれくらいの頻度になりますか？

植樹について調査を進めるのと同時に、イベントについて考えを練りましょう。アク

シヨンプラン(行動計画) やスケジュールを作り、役割分担をするのはいい考えですね。締め切りを忘れずに設定しましょう！たとえば、計画中に次のようなことを考えないといけませんね？

- ・ イベントの参加者はだれですか？
- ・ イベントの用意にあたって、それぞれの役割はなんですか？
- ・ 5月22日(IDB)をどのようにお祝いしますか？
- ・ だれを招待しますか？(例えば、メディア、役所職員、親、一般の人々、など)
- ・ お祝いはどこでやりますか？
- ・ お祝いはいつやりますか？
- ・ イベントをどのようにお知らせしますか？(5月22日以前及び以後)
- ・ どのような情報をグループのウェブページに掲載しますか？

3. さあ、計画を実行に移す時がきました！あなた方の木を植えましょう。5月22日、午前10:00に向けてカウントダウンをします。午前10:00になったら、(地面でなくても、鉢植えやプランターでもかまいません)あなた達の木に水をやって、「グリーンウェイブ」を創り出しましょう。また、その様子を写真に撮ったり、簡単なビデオを作ったりしましょう。

準備をととのえて、グリーンウェイブのウェブサイトに報告をアップロードしましょう。

4. 100~200ワード(英語)で簡単な文章を書きましょう。今回の体験を基にして詩や記事、物語を書いたり、他の参加者に感想を聞いてみたり、その他の作品を制作するのもいいですね。

- ・ 絵を描きましょう。想像力を思い切り働かせてください。
- ・ 絵もしくは写真を3枚選びましょう。
- ・ ビデオクリップを編集しましょう。
- ・ 先生に、グリーンウェイブのウェブサイトへのアップロードをお願いしましょう。アップロードが早いほど、ウェブサイトに表示されるのも早くなりますよ。

5. グリーンウェイブのウェブサイトを、5月22日の20:10に確認しましょう。世界中のグリーンウェイブツリーが次々に立ち並んでいく様子を地図で確認することができます。

(この20:10は、「2010年」が「国際生物多様性」年であることから決められました。来年の2010年が、生物多様性にとって特別な年だと知っていましたか？)

6. グループの仲間と一緒に、グリーンウェイブの経験での良かった点と、もう少し工夫できた点を話し合しましょう。このように振り返った内容を、グリーンウェイブ(greenwafe@cbd.int)へ報告してください。来年のイベントをよりよくすることができますよ。

7. これからも時々グリーンウェイブのウェブサイトをチェックしながら、来年のイベントを楽しみにしててくださいね！

グリーンウェイブの手引き（教師の皆様へ）

(生物多様性条約事務局作成 環境省仮訳)

グリーンウェイブキャンペーンは、皆さんの児童・生徒が国際環境キャンペーンを体験する絶好のチャンスです。児童・生徒に、樹木や生物多様性についての理解、イベント企画立案スキルの会得、そして、政府や民間、メディアによる代表者などのコミュニティメンバーとの共同作業を促します。

同時に、これは皆さんの学校の生物多様性に関する取組を世界に発表し、同じ考えを持った世界中の先生方と手を結ぶ機会となります。



グリーンウェイブ活動を教育カリキュラムに組み込む手段は、たくさんあります。

- ・ 環境教育の時間に、樹木に関する生物学に関する調査を実施する。
- ・ 在来種を選ぶことで、社会科学、歴史学、文化研究に関する学習の基礎を築く。
- ・ 樹木を植える際の技術的問題点を学ぶことで、農学的な知識の強化につながる。
- ・ 作文や美術課題において、5月22日の活動をテーマに創作する。
- ・ 世界中で行われるグリーンウェイブプロジェクトをオンラインで確認することで、地理の学習の出発点とすることもできる。

皆さんの児童・生徒がグリーンウェイブの活動に参加する方法を具体的にいくつか紹介します：

1. グリーンウェイブについて、児童・生徒、同僚教師、管理者と話し合いましょう。グループを作ったら、ウェブサイト上の「登録 (join us)」ページでスクールアカウントを作成しましょう。1校あたり1件しか作成できませんので、注意してください。
2. 次に調査を行い、活動の計画を立てます。グリーンウェイブの活動や植樹についてのヒントが、グリーンウェイブのウェブサイトやリンクページから入手できます。活動に時間がかかっても心配はいりません。情報の更新はいつでも可能です。

児童・生徒を促して、インターネットや、図書館を利用していろいろな資料や情報の収集にあたらせましょう。児童・生徒は、近所の苗木屋さんや樹木の専門家に話を聞きに行くかもしれません。情報源となる可能性のある人々のリストを作り、最初の連絡を取り、その人たちに児童・生徒を紹介しましょう。児童・生徒が考えるべき内容としては、次のようなことです：

- ・ 樹木の多様性とはなんですか？
- ・ 木を植える時、何に気をつけなければならないことは何ですか？
- ・ どのような樹種を植えたらいいでしょうか？

(今年の「国際生物多様性の日 (IDB)」のテーマは「生物多様性と侵略的外来生物」です。自生樹木種を植えることができれば、2009年のテーマに合致しますね。)

- なぜ、この樹種なのですか？
- 植えた後、この樹木については、どのような世話が必要ですか？
- ・ どこにその木を植えたらいいでしょうか？
- ・ その木を植えるのに一番いい時期はいつですか？（気候条件や学力試験の日と重なるなどにより）5月22日が皆さんの住む地域に適した時期ではないならば、他の日を選びましょう。
- ・ その木を世話するのは誰ですか？どれくらいの頻度になりますか？

調査段階で、グループメンバーのうち何人かで、イベント計画についても立案します。アクションプラン（行動計画）やスケジュールを作り、各人へ役割分担することがいいアイデアだということを、児童・生徒に教えてあげてください。忘れずに締め切りを設定しましょう！児童・生徒が検討すべき内容は、例えば以下のようなことです。

- ・ イベントの参加者はだれですか？
- ・ イベントの用意にあたって、それぞれの役割はなんですか？
- ・ 5月22日（IDB）の記念行事を、どのようにお祝いしますか？
- ・ 誰を招待しますか？（例えば、メディア、役所職員、親、一般の人々、など）
- ・ お祝いはどこでやりますか？
- ・ お祝いはいつやりますか？
- ・ イベントをどのようにお知らせしますか？（5月22日以前及び以後）
- ・ どのような情報をグループのウェブページに掲載しますか？

3. 5月22日当日は、午前10:00に向けてカウントダウンをします。午前10:00になったら、（地面に植えなくても、鉢植えやプランターでもかまいません）あなたの木に水をやって、「グリーンウェイブ」を創り出しましょう。その様子を写真に撮ったり、簡単なビデオを作ったりしましょう。
4. 準備を整えて、グリーンウェイブのウェブサイトには児童・生徒の報告をアップロードしましょう。保護者の許可が得られるのであれば、参加した児童・生徒の名前と年齢も公表しましょう。テキスト文章は、英語で200ワードが上限であることに注意してください（但し、画像のキャプションは含まれません）。

以下は児童・生徒の報告に関するアイデアです：

- ・ 児童・生徒に100～200ワード（英語）で簡単な文章を書かせましょう。その経験を基に詩を書いてもらうのもよいでしょう。
- ・ 絵を描かせましょう。想像力をできるだけ広げるようにしてあげてください。
- ・ 絵もしくは写真を3枚選ばせましょう。
- ・ ビデオクリップを編集させましょう。
- ・ 上記の文章、写真などにより、グリーンウェイブのウェブサイトにはグループの活動成果を報告しましょう。報告が早いほど、ウェブサイトに表示されるのも早くなります。

5. グリーンウェイブのウェブサイトを、5月22日の20:10に確認しましょう。世界中のグリーンウェイブツリーが次々に立ち並んでいく様子を、地図上で確認することができます。
6. グループのメンバーと、グリーンウェイブの経験での良かった点と、もう少し頑張るべきだった点を話し合しましょう。こうして振り返った内容を、グリーンウェイブ (greenwafe@cbd.int) へ報告してください。来年のイベントをもっとよくすることができますよ。
7. 今後も時々グリーンウェイブのウェブサイトをチェックしながら、来年のイベントを楽しみにしていきましょう！

(別添3)

地球のいのち、つないでいこう



グリーンウェイブ2009

- 生物多様性 -